

## 2 単元（題材）の目標の考え方

### ☆「単元（題材）」とは

単元とは、各教科の内容をある程度のまとまりで捉えたものです。学習指導要領の内容から、まとまりを考えると良いでしょう。

また、教科・科目によっては「単元」ではなく「題材」として内容のまとまりを捉えることもあります。

### ☆「目標に準拠した評価」とは

学習指導要領に示す各教科・科目の目標に基づき、学校が地域や生徒の実態に即して定めた当該教科・科目の目標や内容に照らしてその実現状況を捉えるものです。



### 単元（題材）の目標を設定する

前項で述べたとおり、年間指導計画は、「生徒に身に付けさせたい力」をどのようなステップで身に付けさせていくかという計画です。ですから、単元（題材）の目標は、年間の流れを意識した上で、当該の単元（題材）で身に付けさせたい力を示すものです。

単元（題材）の目標を立てる際に、教員の思いや願いのみをつづっていませんか。それは大切にすべきことなのですが、まず、学習指導要領を確認することが重要です。現在、定められている評価は「目標に準拠した評価」ですので、その評価の大本となる目標を設定することが必須条件となります。そして、目標設定の基本は、まずは学習指導要領の「指導内容」です。我々教員は、この内容を漏れなく指導する必要があります。

### 単元（題材）の目標の焦点化

単元（題材）の目標とは、その単元（題材）を通して生徒たちにどのような力を身に付けさせたいかを示すものです。教員として生徒に身に付けさせたい力は、たくさんあると思います。しかし、効果的な指導のためには、思い切ってねらいを絞ることが大切です。

一つの単元（題材）にあれもこれも詰め込むのではなく、一つの単元（題材）の目標は焦点化し、それを1年間積み重ねることで、最終的に教科・科目の目標を実現させるという視点をもちましょう。

年間指導計画を立てる時点で、いつ頃・何を・どのように指導するかについて、教科チーム内で情報交換しておきましょう。生徒の入学から卒業まで、系統だった指導計画を立てることにつながります。

### 生徒に応じたステップアップを

#### 個別支援が必要な生徒への対応を考えよう

生徒の学習の進度は、皆同じではありません。目標をどこまで達成することができるかは一人ひとり異なります。

令和3年中教審答申の「個別最適な学び」でも、「教師が支援の必要な子供により重点的な指導を行うことなどで効果的な指導を実現する」「子供一人一人の特性や学習進度、学習到達度等に応じ、指導方法・教材や学習時間等の柔軟な提供・設定を行う」という「指導の個別化」が求められています。

一人ひとりにあった無理のないステップアップを考えましょう。

## 単元（題材）の目標の設定例

### 地理歴史（地理総合）

「B 国際理解と国際協力（2）地球的課題と国際協力」

#### 〈学習指導要領の内容〉

ア 次のような知識を身に付けること

- (ア) 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解すること。
- (イ) 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現を目指した各国の取組や国際協力が必要であることなどについて理解すること。

イ 次のような思考力・判断力・表現力等を身に付けること

- (ア) 世界各地で見られる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などの地球的課題について、地域の結びつきや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現すること。



#### ■単元名

「多様な生活様式に配慮して、世界の人々が共存するためにはどのような工夫が必要なのだろうか」

#### ■単元の目標

- ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が、地形、気候などの自然環境や、歴史的背景や経済発展などの社会環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性を持つことや、それらの地理的環境の変化によって変容することなどについて理解する。
- ・世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解する。
- ・世界の人々の生活文化について、その生活文化が見られる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、「地理的環境を踏まえた生活文化の理解と尊重」などの主題を設定し、「多様な生活文化に配慮して、世界の人々が共存するためにはどのような工夫が必要なのだろうか」などを、多面的・多角的に考察し、表現する。
- ・生活文化の多様性と国際理解について、より良い社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追求しようとする態度を養う。

参考：「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する

参考資料（高等学校）地理歴史」令和3年8月 国立教育政策研究所



## 探究の道しるべ

- ① 自身が担当している教科・科目を一つ取り上げ、学習指導要領の内容を確認しましょう。
- ② ①に対して、ここまで授業で取り扱ってきた内容に印をつけましょう。
- ③ まだ取り扱っていない内容について、左の例を参考にして
  - ・取り扱う時期
  - ・単元名
  - ・単元の目標を考えましょう。

\*左ページに記載の通り、年間を通じて学習指導要領にある全ての内容を指導する必要があります。このような点検作業を実施する機会を年に数回設けておき、調整を図りましょう。

## 単元（題材）による授業構想

「単元（題材）による授業構想」とは、学習指導要領にある各教科・科目の目標や内容を実現するために、ある程度のまとまりを単元として授業を考えることです。各教科・科目における目標の実現は、1単位時間の授業で達成できるものではありませんから、内容のまとまりを単元として、単元（題材）を通して身に付けさせたい力を構想することが必要です。

### 授業づくりの道すじ：

- ①単元目標の設定 ⇒ ②評価規準の設定 ⇒ ③プロセスの設定（1単位時間に②の評価規準を配分） ⇒ ④評価方法の設定 ⇒ ⑤学習活動の設定